

夏季特別展 ものの心の備え

甲冑の美学

2024年7月27日(土)～9月16日(月・祝)

主催：徳川美術館・名古屋市蓬左文庫・読売新聞社

古今東西の鎧のなかでも、日本の甲冑は美しさ華やかさを重視して作られた特異な鎧です。平安時代に登場する大鎧は、戦闘に用いる武具であるにもかかわらず、王朝装束の「かさね色目」の影響を受け、色彩豊かな威糸で装飾されました。また、戦国期の甲冑は徒歩戦のために機能性を追求して構造がシンプルになる一方、戦場で目立ち、あるいは武運を祈るため、個性的で奇抜なデザインが取り込まれることもありました。これら装飾性豊かな日本の甲冑美を紹介するとともに、江戸時代以降、盛んに行われた中世武具の考証、復古にも焦点を当てます。

- 都合により出品作品が変更になる場合がございます。
 - 展示リストの順番は陳列の順番と必ずしも一致しません。
 - 展示期間が空欄の作品は、全期間展示します。
- 前期：7月27日(土)～8月13日(火)、後期：8月14日(水)～9月16日(月)

No.	作品名・作者	所有者・伝来など	時代	世紀<年号>	展示期間／所蔵者
一、古式の武装					
1	埴輪武人像（千葉県印西市 鎌苅古墳出土）		古墳	5-6	徳川美術館
2	続日本紀 菅野真道等撰 第七冊 十三冊の内		江戸	17	蓬左文庫
3	日本三代実録 第十冊 十三冊の内		江戸	17	蓬左文庫
4	延喜式 五十冊の内 藤原忠平等撰		江戸	19	蓬左文庫
二、大鎧・胴丸・腹巻の登場					
5	平治物語絵詞 六波羅行幸巻(模本) 今村随学筆		江戸	天明元年<1781>	徳川美術館
6	小桜文韋威大鎧(複製)(原本:国宝 山梨・菅田天神社蔵)		現代		個人
7	甲州菅田天神楯無鎧之図		江戸	寛政5年<1793>	蓬左文庫
8	平治物語 巻中 三冊の内	徳川家康(駿河御譲本)所用	江戸	17	蓬左文庫
9	平家物語 第九冊 十二冊の内	大脇家寄贈	江戸	明暦2年<1656>	徳川美術館
10	源平盛衰記 卷三十五 四十八冊の内	徳川家康(駿河御譲本)所用	江戸	慶長16年<1611>	蓬左文庫
11	蒙古襲来絵詞(模本) 下巻 三巻の内 神谷元秋筆		江戸	寛政8年<1796>	建中寺
12	古鎧威毛色目(模本) 小堀鞆音写 (原本:新井白石・伊勢貞丈編)		明治	明治19年<1886>	徳川美術館
伝説と宝物					
13	平治物語(カタカナ本) 三冊の内	徳川家康(駿河御譲本)所用	桃山-江戸	16-17	蓬左文庫
14	平家物語 第十冊 十二冊の内	大脇家寄贈	江戸	明暦2年<1656>	徳川美術館
15	甲陽軍鑑 第十九冊 二十冊の内		江戸	万治2年<1659>	蓬左文庫
16	古鎧威糸・小札等	明珍家伝来・桜井清香氏寄贈	南北朝	14	徳川美術館
17	色々威大鎧		南北朝	14	明眼院
参考	短刀 銘宗近 名物海老名小鍛冶 初代越前康継再刃(大坂焼物)	足利将軍家・三好義長・豊臣秀吉・ 豊臣秀頼・徳川家康・徳川義直 (尾張家初代)所持	平安	12	徳川美術館

No.	作品名・作者	所用者・伝来など	時代	世紀<年号>	展示期間／所蔵者
大鎧の弱点					
18	後三年合戦絵巻(模本) 上巻 三巻の内	詞書 庭田重熙筆・絵 土佐光芳筆	江戸	明和6年<1769>	徳川美術館
19	保元物語 第一冊 二冊の内	徳川家康(駿河御譲本)所用	江戸	17	蓬左文庫
20	太平記 卷三十三 二十一冊の内		江戸	貞享5年<1688>	蓬左文庫
甲冑の変化					
21	金小札紅中萌黄糸威腹巻		室町	16	名古屋市博物館
三、戦国の世 当世具足					
当世具足					
22	紅・白・花色・紺段威具足 林孫四郎・茂右衛門尉作	徳川家康近侍着用(駿府御分物)	桃山-江戸	16-17	徳川美術館
23	溜塗笈形鎧櫃 (No.22 紅・白・花色・紺段威具足 附属)	徳川家康近侍所用(駿府御分物)	桃山-江戸	16-17	徳川美術館
24	銀箔置白糸威具足	松平忠吉(徳川家康4男)着用	桃山	16	徳川美術館
25	黒塗黒糸威具足	徳川義直(尾張家初代)着用	江戸	17	徳川美術館
26	朱塗啄木糸威具足 春田吉次・加藤彦十郎作	徳川義直(尾張家初代)着用	江戸	寛永3年<1626>	徳川美術館
27	南蛮胴具足	渡辺守綱着用	桃山	慶長5年<1600> 以前	個人
28	銀孫手	徳川義直(尾張家初代)所用	江戸	17	徳川美術館
29	巴紋陣太鼓	徳川義直(尾張家初代)所用	江戸	17	徳川美術館
変わり兜					
30	熊毛植牛角脇立兜 (熊毛植黒糸威具足 附属)	徳川家康着用(東照宮御譲道具)	桃山-江戸	16-17	徳川美術館
31	錐形兜(黒塗黒糸威具足 附属)	徳川義直(尾張家初代)着用	江戸	17	徳川美術館
32	長烏帽子形兜	加藤清正着用・紀伊徳川家伝来	桃山	16	徳川美術館
33	龍文象嵌南蛮兜		桃山-江戸	16-17	徳川美術館
綴られる甲冑					
34	軍用記 第五冊 七冊の内 伊勢貞丈著		江戸	宝暦11年<1761>	蓬左文庫
35	単騎要略 第二冊 二冊の内 村井昌弘著		江戸	享保20年<1735>	蓬左文庫
36	武用弁略 第五冊 八冊の内 木下義俊著		江戸	19	蓬左文庫
軍団と戦国の甲冑					
37	甲陽軍鑑 第二十冊 二十冊の内		江戸	万治2年<1659>	蓬左文庫
38	関ヶ原合戦絵巻 第四巻 四巻の内	田安徳川家伝来	江戸	19	徳川美術館
尾張家と甲冑の保管					
39	御召御甲冑御武器目録		江戸	寛政10年<1798>	徳川美術館
40	御召御具足并添御道具根帳		江戸	文政2年<1819>	徳川美術館
41	御武器目録番具足員数帳		江戸	19	徳川美術館
42	金城温古録 第二十冊 御具足之事 御貸具足 六十六冊の内 奥村得義著		江戸-明治	19	蓬左文庫
43	半頬折紙 (No.25 黒塗黒糸威具足 附属)		江戸	宝永4年<1707>	徳川美術館

No.	作品名・作者	所用者・伝来など	時代	世紀〈年号〉	展示期間／所蔵者
四、太平の江戸時代と甲冑					
具足祝					
44	御当家年中行事		江戸	寛政7年〈1795〉	蓬左文庫
45	御具足御祝之次第・嘉祥御祝之次第・玄猪御祝之次第		江戸	19	蓬左文庫
端午節供					
46	徳川直七郎(斉温)節供旗飾図		江戸	文政8年〈1825〉	徳川美術館
47	骨董集 第一冊 四冊の内 山東京伝著		江戸	19	蓬左文庫
鎧着始					
48	御鎧召初次第		江戸	19	蓬左文庫
49	御具足御召初書抜		江戸	19	蓬左文庫
50	式番御唐櫃入記御讓白糸威御具足記		江戸-明治	18-19	徳川美術館
51	黒塗白糸威具足	徳川綱誠(尾張家3代)・ 義宜(同家16代)着用	江戸	17	徳川美術館
様々な当世具足					
52	鉄錆塗萌黄糸威具足 明珍信家・明珍宗介作	徳川宗春(尾張家7代)着用	江戸	享保3年〈1718〉	徳川美術館
53	唐冠形兜	徳川宗春(尾張家7代)着用	江戸	18	徳川美術館
54	黒熊毛植三十二間筋鉄兜 明珍信家作	徳川慶勝(尾張家14代)着用	江戸	嘉永2年〈1849〉	徳川美術館
55	錆塗紅糸威具足	上田家寄贈	江戸	18	徳川美術館
56	金切裂指物	上田家寄贈	江戸	18	徳川美術館
甲冑パーツ					
57	十六間筋兜	徳川家康・仙千代(家康8男)着用	室町	15-16	徳川美術館
58	鉢(黒塗紺糸威胴丸具足 附属)	徳川宗睦(尾張家9代)着用	江戸	18	徳川美術館
59	面頬(黒塗黒糸威具足 附属)	徳川義直(尾張家初代)着用	江戸	17	徳川美術館
60	総面(逆沢瀉威鎧 附属)	徳川宗睦(尾張家9代)着用	江戸	18	徳川美術館
61	大袖(逆沢瀉威具足 附属)	徳川宗睦(尾張家9代)着用	江戸	18	徳川美術館
62	大袖(黒塗紫威具足 附属)	徳川治興(尾張家9代宗睦2男)着用	江戸	18	徳川美術館
63	袖(黒塗無艶紺糸威胴丸 附属) 明珍宗政作	徳川治休(尾張家9代宗睦長男)着用	江戸	18	徳川美術館
64	臙当		江戸	18	徳川美術館
65	臙当(逆沢瀉威鎧 附属)	徳川宗睦(尾張家9代)着用	江戸	18	徳川美術館
66	黒塗緋威鎧(子供用)		江戸	元禄4年〈1691〉	徳川美術館
甲冑と装束					
67	白麻地切石文鎧下着	松平通温(尾張家3代綱誠19男)着用	江戸	18	前期 徳川美術館
68	浅葱羽二重鎧下着	松平通温(尾張家3代綱誠19男)着用	江戸	18	後期 徳川美術館
69	赤地錦雲龍文鎧直垂	徳川治行(尾張家9代宗睦嫡子)着用	江戸	18	前期 徳川美術館
70	朽葉色六葉葵立涌文文紗鎧直垂	徳川義宜(尾張家16代)着用	江戸	19	後期 徳川美術館
71	白紹地葵紋付波文陣羽織	徳川慶勝(尾張家14代)着用	江戸	19	前期 徳川美術館
72	白羅紗地陣羽織	徳川慶勝(尾張家14代)着用	江戸	19	後期 徳川美術館

No.	作品名・作者	所用者・伝来など	時代	世紀〈年号〉	展示期間／所蔵者
五、式正の鎧					
73	蔭涼軒日録 第十三冊 十六冊の内		江戸	18	蓬左文庫
74	徳川家康十六神将図		江戸	18	前期 徳川美術館
75	徳川家康長久手合戦陣中画像 伝狩野安信筆		江戸	17	後期 徳川美術館
76	長久手合戦図屏風 六曲一隻		江戸	18-19	前期 徳川美術館
参考	長久手合戦図屏風(模本)(原本：徳川美術館蔵) 六曲一隻		現代	21	後期 徳川美術館
77	源平盛衰記駿河国富士川合戦 歌川国芳画		江戸	19	前期 徳川美術館
78	源義経一ノ谷頂上陣揃図 歌川国芳画		江戸	19	後期 徳川美術館
79	前太平記之内 源頼光 歌川芳虎画		江戸	19	前期 徳川美術館
80	前太平記之内 坂田金時 歌川芳虎画		江戸	19	後期 徳川美術館
81	武田上杉川中嶋大合戦の図 歌川国芳画		江戸	19	前期 徳川美術館
82	川中嶋信玄謙信旗本大合戦之図 歌川国芳画		江戸	19	後期 徳川美術館
83	古今武勇歌仙 二冊		江戸	嘉永3年〈1850〉	蓬左文庫
六、中世甲冑の復古と考証					
中世の甲冑に迫る					
84	本朝軍器考 十二冊の内 新井白石著		江戸	元文5年〈1740〉刊	徳川美術館
85	集古十種 八十五冊の内 松平定信(白河松平家3代)編		江戸	寛政12年〈1800〉	徳川美術館
86	好古集覧 革究図考初輯 池田義信編		江戸	天保15年〈1844〉	徳川美術館
87	小桜紋藍革 二枚の内		江戸	18-19	徳川美術館
88	興福寺所蔵義経鎧雛形 十枚の内		江戸	18	蓬左文庫
89	芸州巖島神宝古鎧図		江戸	18	蓬左文庫
復古調の甲冑					
90	紅下濃威兜	徳川治行(尾張家9代宗睦嫡子)着用	江戸	18	徳川美術館
91	黒塗勝系威鎧	松平勝長(尾張家8代宗勝6男)着用	江戸	18	徳川美術館

以上

夏季特別展 ものの心の備え
馬とともに

2024年7月27日(土)～9月16日(月・祝)

主催：徳川美術館・名古屋市蓬左文庫・読売新聞社

馬は古代より人の生活と文化に深く関わり、中世からの武家社会ではとくに軍馬として重用されました。軍事権を「兵馬の権」、武芸一般を「弓馬の道」と言うように、馬を扱うことは武士の必須の嗜みであり、優れた馬は、武威・武芸の象徴として武士の身分格式を示す存在となりました。こうして武家風俗と密接に結びついた馬は、その気高い姿が武士たちに愛好され、多様な美術工芸品のモチーフにも表されます。また、人馬を繋ぐ馬具は時代や用途によって変化し、近世には華やかな装飾性が取り入れられて発展しました。

本展では、馬と人がともに生きた歴史について、武家社会と馬の関わりを中心に紐解いていきます。

- 都合により出品作品が変更になる場合がございます。
- 展示リストの順番は陳列の順番と必ずしも一致しません。
- 展示期間に記載のないものは、全期間展示します。
前期：7月27日(土)～8月13日(火)、後期：8月14日(水)～9月16日(月・祝)
- 所蔵者欄が空欄の作品は、徳川美術館所蔵です。

No.	作品名・作者	所用者・伝来など	時代	世紀<年号>	展示期間/所蔵者
1	紫檀製「翁澤」置物 伊勢貞門作	徳川慶勝(尾張家14代)所用	江戸	19	
一、戦と馬					
2	平家物語扇面貼込帖(古筆手鑑「尾陽」所収)		江戸	17	めぐり替
3	後三年合戦絵巻(模本) 中巻 三巻の内 詞書 庭田重熙筆・絵 土佐光芳筆		江戸	明和6年<1769>	前期
4	古画抜模集		江戸	19	前期 個人
5	平治物語絵詞 六波羅合戦巻(模本)		江戸	18-19	後期 個人
6	蒙古襲来絵詞(模本) 上巻 三巻の内 神谷元秋筆		江戸	寛政8年<1796>	後期 建中寺
7	長篠合戦図屏風 六曲一隻		江戸	17	前期 名古屋市博物館
8	長篠合戦図屏風 六曲一隻		江戸	18-19	後期
9	東鑑「御本」印本 第二十一冊 五十冊の内		江戸	寛永3年<1626>	名古屋市蓬左文庫
10	平家物語 第九冊 十二冊の内		江戸	17	名古屋市蓬左文庫
11	武具要説		江戸	18-19	名古屋市蓬左文庫
12	甲陽軍鑑 第十四冊 二十冊の内		江戸	万治2年<1659>	名古屋市蓬左文庫
13	火縄銃 三匁五分馬上筒 銘 国友勝左衛門作		江戸	17-18	
14	火縄銃 三匁五分馬上筒		江戸	17	
15	織田信長書状		室町	16	名古屋市博物館
二、江戸の武家と馬					
16	武家諸法度		江戸	18-19	名古屋市蓬左文庫
17	初学文宗 徳川義直(尾張家初代)著		江戸	17	名古屋市蓬左文庫
18	金城温古録 第三十四・三十五冊 六十六冊の内 奥村得義草稿		江戸-明治	19	名古屋市蓬左文庫
19	昔咄 近松茂矩編 第四冊 七冊の内		江戸	元文3年<1738>	名古屋市蓬左文庫
20	尾府御家中武芸はしり廻 鈴木猪八郎著		江戸	文政13年<1830>	名古屋市蓬左文庫
21	武芸稽古日寄		江戸	18-19	名古屋市蓬左文庫

No.	作品名・作者	所用者・伝来など	時代	世紀<年号>	展示期間／所蔵者
22	小金ヶ原鹿狩図 神谷養朔筆		江戸	寛政7年<1795>	
23	要馬之図 巻二 八巻の内		江戸	宝永5年<1708>	
24	常心流馬術伝書 早馬七段之書・馬十毛書 弓場重正著		江戸	正徳3年<1713>	名古屋市蓬左文庫
25	随心流執御全書 八冊 弓場重正著		江戸	享保16年<1731>	名古屋市蓬左文庫
26	流鏑馬之図		江戸	18-19	名古屋市蓬左文庫
27	調馬図屏風 六曲一双	尾張徳川家伝来・岡谷家寄贈	江戸	17	前期：右隻 後期：左隻
28	厩図屏風 六曲一双		江戸	18	前期：右隻 後期：左隻
三、美術のなかの馬					
29	端溪八駿硯		北宋	12-13	
30	狩獵図彫彩漆盆		南宋	13	
31	百駿 程君房製墨		明	16-17	
32	古染付馬ノ絵火入		明	17	
33	百馬図 伝趙子昂筆		江戸	17	巻替 光陽寺
34	群馬蒔絵印籠 銘 梶川作(印) 附 象牙十二支根付		江戸	19	
35	馬図紫檀彫印籠		江戸	19	
四、人と馬をつなぐ馬具					
36	朱漆木瓜紋鞍		室町	16	名古屋市博物館
37	黒塗桐紋鞍・鐙 伊勢駿河守貞雅作	徳川家康所用	桃山-江戸	16-17	
38	轡 銘 天下一藤原美次 市口伊予守 藤原美次・市口伊予守作	徳川家康所用	桃山-江戸	16-17	
39	馬氈(鞍褥)	徳川家康所用	桃山-江戸	16-17	
40	菊折枝蒔絵鞍・鐙	俊恭院福君 (尾張家11代齊温継室)所用	江戸	17	
41	波に鯉蒔絵鞍・鐙		江戸	19	
42	獅子牡丹蒔絵鞍・鐙		江戸	18-19	
43	諫鼓鳥蒔絵鞍・鐙		江戸	19	
44	竹根鞭	徳川宗勝(尾張家8代)所用	江戸	18	
45	白重藤巻唐草蒔絵鞭	徳川宗睦(尾張家9代)所用	江戸	18	
46	馬面	酒井家伝来	江戸	17-18	名古屋市博物館
47	馬面 銘 寛政十一己未九月吉日 尾州住彫工早瀬長兵衛吉政模作之(花押) 早瀬吉政模作		江戸	寛政11年<1799>	
48	馬鎧		江戸	寛政11年<1799>	
49	紫厚総		江戸	18-19	
50	葵紋龍田川蒔絵馬具		江戸	18	
51	黒塗葵紋蒔絵馬柄杓 伝鶴田忠兵衛政好作		江戸	19	
52	梨子地葵紋蒔絵馬柄杓 伝鶴田忠兵衛政好作		江戸	19	

以上